

# 木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター  
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(23年8月分)

1. 調査実施期間 平成23年 7月20日 ~ 8月10日
2. 調査実施方法  
東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
8月分の回答企業数は38社、回収率は90.5%である。
3. 判断指数の算出方法  
各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

### 4. 調査結果の概要

#### (1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		23/8月	9月	10月
仕入動向	国産材	-31.0	-8.6	3.4
	外材	-22.9	-12.9	-2.9
販売動向	国産材	-29.3	-1.7	3.4
	外材	-24.3	0.0	8.6
在庫動向	国産材	-17.9	-10.7	-7.1
	外材	-10.3	-14.7	-7.4

仕入れは、国産材、外材ともマイナス基調だがマイナス幅を縮め、国産材は秋に向けプラスに。  
販売も国産材、外材ともマイナス基調だが、マイナス幅縮め、秋には共にプラスに。  
在庫は、国産材、外材ともマイナス基調。

#### (2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	23/8月	9月	10月
スギ正角(グリーン)	-8.8	0.0	0.0
スギ正角(KD)	-5.6	-2.8	-2.8
ヒノキ正角	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	-2.4	0.0	0.0
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	0.0	0.0	2.4
米マツ平角	0.0	2.8	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	-2.4	0.0	0.0
ホワイトウッド集成管柱	-21.1	-2.6	-2.6
レッドウッド集成平角	-9.4	-6.3	0.0
型枠合板(国産)	-26.5	-20.6	-2.9
型枠合板(輸入)	-16.7	-13.9	-8.3
針葉樹合板	0.0	-6.3	0.0

スギ正角(グリーン、KD)は弱含んでいるが、秋に向けほぼ横這い、ヒノキ正角、土台は横這い。  
米ツガ正角(現地挽)、土台角、割物ともやや弱含みないし横這い。  
米マツ平角は、横ばい。  
北洋アカマツタルキは、高止まり横ばい。  
WW集成管柱、RW集成平角とも弱含みだが、マイナス幅縮小。  
合板は、輸入品が多く出回り、型枠は国産、輸入ともマイナス基調も、マイナス幅縮小、針葉樹は、荷が出てきたが、厚物は一部で再び品薄感があり、高値横ばい。

1. 荷動き	
仕入れ動向	<p>久しぶりの入荷で賑ったが、客は慎重な仕入れに終始。(東京:米材問屋)ベイマツ一般材丸太は米材7月積み輸出価格若干の下げ、中国勢の買に一時的勢いなくカナダ材セカンドグロスも弱含み、オールドグロスは現地在庫少なく引き続き強含み。カナダ材白系丸太も出材減から引き続き強含み。(東京:米材問屋)</p> <p>産地原木価格は高止まり。中国等の買付け軟化しているが、産地通貨高もあり製品価格も高止まり。(東京:南洋・中国材問屋)多少入荷増になりそう。(東京:南洋・中国材問屋)中国材の入荷は回復するも、南洋材は相変わらずタイトで思うように仕入れできない。(東京:南洋・中国材問屋)7月在庫抑えたため、8月は仕入れ少し増えるかも。(東京:外材問屋)</p> <p>スギKD材荷動き不振、在庫増望めず。(東京:国産材問屋)良材原木少ないため良材製品少なく仕入れに苦労。(東京:国産材問屋)需要も供給も細り、微妙にバランスがとれている。(東京:国産材問屋)</p> <p>7月も低調に推移した。(東京:仲買・小売)プレカットはスギからW.W集成材に切り替え。(東京:仲買・小売)前月同様控えめ。(東京:仲買・小売)</p>
販売動向	<p>当用買いは相変わらずだが、決まれば値切らず成約。(東京:米材問屋)米マツ一般材丸太は京浜マーケットでは一般ルートの平角オーダーがほとんどメーカーに入っておらず丸太消費全く進まず、問屋は手持ち在庫抱え厳しい商い。(東京:米材問屋)</p> <p>見積もりは増加するも、相見積もり多く実際の仕事は増えず。(東京:南洋・中国材問屋)材があれば売れる。(東京:南洋中国材問屋)盆明け前の駆け込み仕事が目立つ。納期短く慌ただしい。(東京:南洋中国材問屋)</p> <p>5,6月に比べ良好。(東京:外材問屋)8月は例年売り上げ落ち込む。(東京:外材問屋)エコポイントの駆け込み需要と言われているがプレカット稼働状況はどこも忙しく、9月まで続きそう。(東海:外材問屋)</p> <p>引き合い増え、単価次第では売れる。(東京:国産材問屋)構造材の動き好くないが、造作材は忙しい。(東京:国産材問屋)スギKD構造材が特に不振、間柱、板物が需要減。(東京:国産材問屋)幼稚園・保育園でスギの造作材が使われるようになってきた。(東京:国産材問屋)</p> <p>盆明け後、プレカットの動きあり、小規模ゼネコンの学校関係の現場あるも、売り上げを維持するのが大変。リフォーム部門の低調続く。(東京:仲買・小売)比較的良好を保っている。(東京:仲買・小売)見積もり、価格問い合わせ等全くない。(東京:仲買・小売)リフォームは大変忙しいが、材木屋としての使命は完了か。(東京:仲買・小売)</p> <p>これまでの仕事が終わるが、新規の仕事始まらない。木材の売れない月となった。(東京:仲買・小売)</p> <p>相変わらず需要低迷中、ラワン合板関係がやや弱気の相場付き。(大阪:仲買小売)7月は仕事(現場)が、8月は新築物件少なく、ひまになりそう。(大阪:仲買・小売)</p>
在庫動向	<p>旧盆入りを控え、客は慎重、盆明けに期待。(東京:米材問屋)米マツ一般材丸太は京浜港への本船入荷を見送るなど問屋の手持ち在庫改善されず、一方白系役物丸太は入荷減から不足感強い。(東京:米材問屋)FJL関係の在庫が増えている。ラワン材の在庫はゼロ。(東京:南洋・中国材問屋)全体的な入荷量は増えておらず相変わらず欠品も目立つ。具体的な入荷予定が産地の諸事情で判らない。(東京:南洋・中国材問屋)売上げ減でも産地事情によりある程度維持。(東京:広葉樹・合板問屋)8月は若干在庫増加、9~10月は8月の量を維持。(東京:外材問屋)</p> <p>流通は荷動き悪く在庫も多くなっている。(東海:外材問屋)</p> <p>先行き不透明。(東京:国産材問屋)</p> <p>現状維持。(東京:仲買・小売)</p>
2. 価格動向	
スギ正角	<p>グリーン材の取引ほとんどなくなった。(東京:国産材問屋)10.5角、12角スギKD柱不振、先行き動向好材料なし。(東京:国産材問屋)動いていないが、高いときの品が残っているのか、震災前の価格に戻りそうもない。(東京:仲買・小売)相変わらず横ばいで行くと予想。(東京:仲買・小売)</p>
ヒノキ正角 土台角	<p>変化なし。(東海:外材問屋)ヒノキ材は相場感なし、現状維持。(東京:国産材問屋)</p>
米ツガ	<p>米ツガ割物3mが少ない。(東京:仲買・小売)</p> <p>変化なし。(東海:外材問屋)</p>
米マツ平角	<p>変化なし。(東海:外材問屋)</p>
北洋アカマ ツタルキ	<p>品物は揃う、価格は横這い。(東海:外材問屋)</p> <p>高止まり、質がどんどん落ちてゆく。(東京:仲買)</p>
WW・RW 集成材	<p>欧州材はそろそろ下げ止まり、価格はしばらく現状維持と予想。(東京:外材問屋)レッドウッド集成材はかなり安く取引されている模様。(東京:外材問屋)引き合いあるが、単価安くなっている。(東京:集成材等問屋)</p> <p>WW管柱やや弱含み、1,700円/本を下回るものも出回る、RW平角需要は回復、価格横這い、荷動き良くなってきた。(東海:外材問屋)</p>
合板	<p>品物揃うが、需要多く、価格は高値横這い。(東海:外材問屋)</p> <p>9月頃、輸入ベニアが多く出回り、値下がり一段と強くなると予想。(東京:仲買・小売)ここに来て12mmラーチが再び品薄、ラワンと針葉樹の価格差はもう少し縮まるのではないかと。(東京:仲買・小売)</p> <p>厚物も少し回復の兆し。(大阪:仲買)</p>